

情報処理安全確保支援士

難易度完全解説

合格率データと戦略で射程圏内に
合格率 20% の正しい読み方と最短合格ロードマップ



合格率 20% って無理でしょ…

戦略で射程圏内に入れる



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

● 試験の 3 科目構成と合格基準



午前Ⅰ・Ⅱ（四肢択一）

各 60 点以上が合格基準。午前Ⅱは過去問から再出題が多い



午後（記述式）

150 分の記述式。4 問中 2 問選択でシナリオ読解が必要



合格の鉄則

午前免除制度を活用し午後対策に学習時間を集中させる

● 旧セキスペと何が違うのか

旧セキスペ

試験合格のみ

- ・ 名称制限なし
- ・ 維持要件なし
- ・ 法的裏付けなし

VS

情報処理安全確保支援士

名称独占資格（登録制）

- ・ 登録者のみ名乗れる
- ・ 3年周期の講習必要
- ・ 士業的位置づけ



重要な差

官公庁・金融の入札で RISS 配置が要件化されている

● 合格率 20% の正しい読み方



見かけ合格率：約 20%

受験者ベース 19 ~ 22% で推移。令和 6 年秋期は 15.1% と低下



応募者ベースの合格率

応募者の約 3 割が当日欠席（受験率 71 ~ 73%）。応募者ベースの合格率は 11 ~ 16%



本質

しっかり対策した人の実質ハードルは「5 人に 1 人」より低い

● 難化の正体——範囲の拡大



新出の頻出トピック

ゼロトラスト・コンテナ・サプライチェーンが頻出に



出題形式の変化

記述式 2 問選択に改変済み。深い理解と論述力が求められる



対策の核心

基本原則（CIA・多層防御）を軸に新トピックを理解する

● 情報処理安全確保支援士 vs CISSP

情報処理安全確保支援士

国内志向に最適

- ・ 受験要件なし
- ・ 日本語・受験料 7,500 円
- ・ 官公庁・金融で高評価

VS

CISSP

グローバル志向向け

- ・ 実務経験 5 年必要
- ・ 英語・受験料約 11 万円
- ・ 外資系・海外で高評価



推奨順序

まず SC で国内信頼を固め、その後 CISSP を検討する

● 難しいと言われる 3つの理由



午後の記述式

シナリオ読解 + 因果記述が必要。知識だけでは解けない



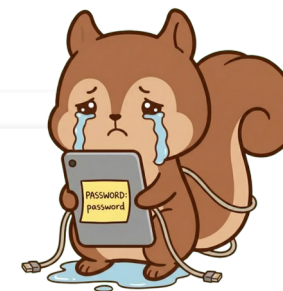
広大な出題範囲

技術・管理・法律の3領域。毎年新トピックが追加される



独学の継続困難

100 ~ 300 時間を継続。採点基準不明で実力把握が難しい



3つとも対策可能。正しい順序と方法で取り組めば合格は現実的な目標

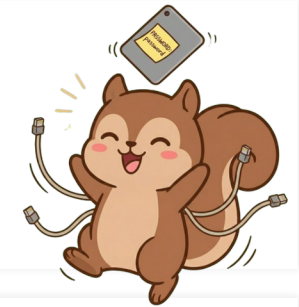


● バックグラウンド別の目安勉強時間



応用情報合格レベル

100 ～ 200 時間 ・ 2 ～ 4 か月。平日 1 時間 + 休日 2 ～ 3 時間で到達



未経験・基礎から

200 ～ 300 時間 ・ 4 ～ 6 か月。体験記では 110 時間で合格した例も



配分の鉄則

午前 3 割 ・ 午後 7 割。午前 II を速く終わらせて午後に集中する

● 午後試験を突破する実践テクニック

1

設問先読み法

問題文より先に設問を確認し注目箇所を絞ってから本文を読む

2

因果構文で記述

「～ため」の構文で問題点→原因→影響の流れを書く

3

大問 75 分厳守

1 問 75 分の時間管理で過去問 2 周。出題パターンを習得する

4

誤答の原因分析

間違えた問題の「なぜ」を深掘りし同パターンで必ず正解する

反復した奴が受かる試験だ



● 取得後の年収・資格手当の実態

資格手当・報奨金



月額手当

5,000 ～ 30,000 円 / 月。大手 Sler は上限が高い



合格時一時金

50,000 ～ 200,000 円。高度区分の中でも上位



RISS 追加手当

10,000 ～ 50,000 円 / 月。登録維持者に追加支給

転職・フリーランス年収



支援士記載の公開求人 14 件

中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）



セキュリティコンサル（公開求人 9 社）

600 ～ 1,200 万円



フリーランス（中央値 92.5 万円 / 月）

12 か月換算で年収 1,110 万円

投資対効果最大



● 合格後のキャリアパス



SOC ・ CSIRT ・ ペネテスター

セキュリティ監視・診断・対応。経験3年でフリーランスも視野



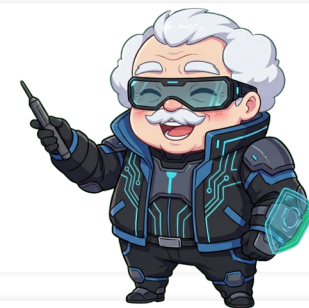
コンサル・アーキテクト

戦略策定・リスク評価・設計が主業務。高年収ポジション



資格の本質的価値

名称独占で社会的信頼を可視化。応募できる案件の幅が広がる



● まとめ | 正しく対策すれば射程圏内に入る試験



合格率 20% は怖くない。応募者の 3 割は当日受験しない。IPA 高度区分で最初の一步に最適



午後記述式が最大の壁。過去問 5 年分 2 周 + 設問先読み・因果構文で突破する



取得後は正社員中央値 650 万円・フリーランス年収換算 1,110 万円のレンジへ。セキュリティ人材不足で市場価値は上昇中

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

